

MISHIMA INTERNATIONAL
RELATIONS ASSOCIATION

MIRA 通信

<https://mishima-life.jp/mira/>

No. **103** 2017年
平成29年12月15日発行
三島市国際交流協会

〒411-8666
静岡県三島市中央町5-5
三島市役所中央町別館
TEL (055) 976-1020
FAX (055) 976-1021

姉妹都市親善 第54回 英語スピーチコンテスト



一般の部優勝
秋山さん



中学生の部優勝 &
最優秀賞宇山杯
星野さん



10月15日(日)、中郷文化プラザ2階多目的ホールにて第54回姉妹都市親善英語スピーチコンテストが開催されました。中学生の部14人、一般の部の10人が参加し、日頃の学習の成果を競いました。審査員のジェームズ・モロイ氏は、「笑顔で明るく表現することが大切です」と参加者の皆さんの健闘をたたえとともに感想を述べました。



向かって左からジョン・マー先生、ジェームズ・モロイ氏、エイヴリン・ウィルス先生(審査員の皆さん)



英語スピーチコンテスト2017入賞者の皆さん(敬称略)

| 中学生の部 | 氏名 | 学校・学年 | タイトル |
|-------|-----------|----------|-------------------------|
| | 1位 星野 心音 | 北中学校 3年 | Food Problems in Japan |
| | 2位 池田 杏奈 | 北中学校 2年 | Reach Out |
| | 3位 鶴岡 翔生 | 山田中学校 3年 | The Power of Positivity |
| | 特別賞 黒崎 実侑 | 錦田中学校 2年 | Sounds of the Heart |

| 一般の部 | 氏名 | 学校・学年 | タイトル |
|------|-----------|---------------|-------------------------|
| | 1位 秋山 麗奈 | 県立荏山高等学校 2年 | Happiness |
| | 2位 芳賀 ゆりな | 日本大学三島高等学校 2年 | Love and Having a crush |
| | 3位 セグラ 歌乃 | 三島学園知徳高校 2年 | Making a connection |
| | 特別賞 海瀬 蓮 | 県立荏山高等学校 2年 | Enjoyable Hometown |

※星野さんは宇山杯も受賞

公式訪問団麗水市訪問、教師相互派遣協定書調印

三島市と中国浙江省麗水市とは、1997年に友好都市の提携を結んでいます。20年の節目に当たり、このほど、三島市から梅原薫副市長を団長とする公式訪問団が麗水市を訪問しました。

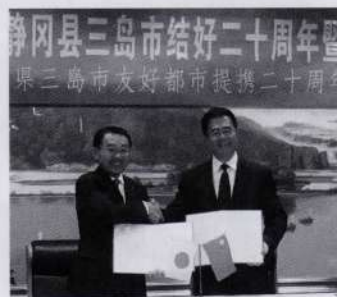
一行は、11月13日に浙江省の省都杭州市で開催された、静岡県と浙江省の友好提携35周年の記念式典に出席したのち、麗水市に到着、多くの市民から熱烈歓迎を受けました。麗水市での式典で

は、^{シェン}朱晨市長、梅原副市長が両市を代表して挨拶、両市の相互の絆を強め、友情を深めていくことを確認しました。また、あらたに、両市の教師の相互理解と友誼を増進し、教育分野の交流を促進することを目的とした教師相互派遣の協定書に調印しました。

訪問団は、上海を経由して、11月16日に帰国しました。

麗水市派遣公式訪問団名簿（敬称略）

| | | |
|-----|-------|---------------|
| 団長 | 梅原 薫 | （三島市副市長） |
| 副団長 | 鈴木 文子 | （三島市議会議長） |
| | 平出 利之 | （三島市国際交流協会会長） |
| | 池田 智美 | （三島市国際交流室長） |
| | 畠 和哉 | （三島市商工観光課長） |
| | 大林 勲 | （三島市秘書課課長補佐） |
| | 李 寧 | （三島市国際交流室） |



◀教師相互派遣協定書調印式の様子

豆知識

静岡県・浙江省友好提携35周年

中国沿海の南東部、上海市の南部に位置する浙江省は、温暖な気候に恵まれ、お茶やミカンの栽培、稲作や養蚕などが盛んです。また、世界文化遺産に登録された西湖をはじめとした風光明媚な観光地が多く、静岡県とは、気候、風土、産業や観光などの面で多くの共通点があります。こうした縁に基づいて、両県省は35年前の1982年、友好提携を結びました。友好提携以後、企業研修生の受け入れや、大学間の交流、病院提携など幅広い交流が行われています。最近では、食や健康、スポーツ（マラソンや卓球など）の分野でも交流が盛んになっています。

都市間の友好提携では、三島市（1997年・麗水市）のほか、島田市（1987年・湖州市）、富士市（1989年・嘉興市）、富士宮市（1997年・紹興市）、浜松市（2012年・杭州市）が浙江省の都市と提携しています。



友好都市提携20周年記念誌『三島市・麗水市 20年の歩み』を刊行



記念誌表紙



同裏表紙

友好都市提携20周年を記念して、このほど、両市の友好の足跡を掲載した『三島市・麗水市20年の歩み』を、刊行しました。両市長や国際交流協会会長、花園中学校理事長の挨拶とともに、20年間の交流の足跡、青少年の交流、文化、スポーツの交流などを紹介しています。両市民の交流については写真を中心とした構成となっており、笑顔満載の楽しいものに仕上がりました。



2017年

ニュープリマス市
三島市

教師交換事業



ニュージーランドの姉妹都市ニュープリマス市と三島市では、隔年で、教師交換事業（相互派遣）を行っています。今年は8月1日から21日までの3週間、北小のエイヴリン・ウィルス先生、小村彩香先生の交換がニュープリマスを訪問し、また、ニュープリマスで、主に学習障害を持っている生徒、英語力が十分でない生徒の指導を専門としている、エイヴリン・ウィルス先生が、10月7日から19日にかけて三島市に滞在し、市内小中学校、日大、特別支援学校や障害児を対象とした民間の放課後支援施設などを訪問しました。

8月1日から21日までの3週間、幼稚園、小学校、中学校、高校と、現地の様々な教育現場を訪問し、授業を見学だけでなく、子どもたちと一緒に折り紙をしたり、歌を歌ったり、Morning Teaでお茶をしたり、日本とはちがう学習指導法や教育事情などに接することができた。ニュージーランドでは、個性をととても大切にしている教育をしている。子どもたちが、自ら選択し、自分の予定を管理し、統制するといった力を身に着けるような教育をおこなっている。ICT化も進んでいる。パソコン、タブレット、スマートフォンなど、子どもたちのデバイスを使って教育する手法など、参考にすべきことが多く、とても勉強になった。日本との大きな違いは、環境である。豊かな自然、ゆっくり流れる時間。そして心の温かい人々。仕事よりも家族でいる時間を大切に、自分の人生を豊かに楽しむ暮らし。

3週間、もちろん学校で、子どもたちや先生方から学ぶことも多かったが、ホストファミリーの皆さんや現地の人々、姉妹都市交流に関わる人々、現地の日本人会の人々とのふれあいを通じ、かけがえのない経験ができた。

教師としても、自分の人生においても、これからどう歩むべきかを考える絶好の機会を与えていただき、心から感謝している。



スポッツウッド校の子どもたちと

ニュージーランドでは、読み書き学習において困難のある生徒、つまり学習障害を持っている子どもたちや、英語を母国語としない家庭に育ち、英語力が十分でない子どもたちの、学習支援を行っている。三島では、小中学校の授業の視察や実際に英語の授業をおこなうなどし、また、先生方ともいろいろの情報交換の機会を得た。給食も一緒に食べて、子どもたちと楽しいふれあいをすることができた。支援が必要な子どもたちについては、日本では、特別学級や特別支援学校などがあって、一般の子どもたちとは別の教育支援の場を設けているが、ニュージーランドでは、どの子も一般のクラスに入っていて、その中で個別に支援を行っている。どちらが良いのかはわからないが、子どもたちの成長を願う気持ちは同じだと感じた。国際交流協会主催の英語スピーチコンテストの審査員をさせてもらったが、若い人たちが一生懸命英語を勉強していることが感じられて、とてもうれしく思った。三島では、本当にいろいろなことを体験させてもらい、とても感謝している。残念だったことは、ずっと雨の日が続いて、富士山をあまり見ることができなかったことだ。帰国前のある朝、ようやく晴れた青空に映える、タラナキ山そっくりの富士山を見た時の感動は、忘れられない。



北小にて

ハワイからチャールズ・モリヤマさん夫妻来島

ハワイへの留学生支援を提案

終戦後、進駐軍が楽寿園に駐在していた際、1946年から1年間、情報部隊の一員として勤務したチャールズ・モリヤマさん夫妻が、11月2日来島しました。モリヤマさんは、昨年の3月にも来島し、楽寿園の維持保全のためにと、2万ドル（約240万円）を三島市に寄付されています。今回の来島の目的は、ホノルルにある伝統校、ミッド・パシフィック・インスティテュート（MPI）に、ぜひ三島の高校生を留学生として迎えたい、その際の経済的支援も行いたい、という思いを、どう具体的にするかを協議するためです。MPIには、15か国以上90名以上の留学生が学んでおり、卒業生は世界中のあらゆる大学や分野で、最高レベルの活躍をしています。MPIは、世界中から集まる若人によって、まさに国際性豊かな文化共同体となっています。ハワイの友人の熱き思いに心から感謝し、提案が具体的に進展することを期待します。



豊岡市長を表敬訪問したモリヤマさん夫妻

60年の友情に感謝、 そして次世代へ・・・



姉妹都市提携60周年記念 三島市公式訪問団(パサディナ市) 報告

バルボア公園日本友好庭園



庭園は、サンディエゴと横浜の友好関係を表現しています。



姉妹都市提携60周年記念三島市公式訪問団13人がアメリカ、カリフォルニア州を訪れました。一行は10月21日に三島市を出発。ロサンゼルスで現地コーディネーター、パサディナ日系文化会館ブライアン・タケダさんのグループと合流し、南カリフォルニア地域の公園や農業施設を視察しました。その後、パサディナ市に移動してさらに中高一貫校、NASA研究施設、文化施設を見学。最終日にはカレッジフットボールの試合で有名なローズ・ボウルで行われた「姉妹都市提携60周年記念セレモニー」に出席し、これまで友情を育んできた先人に感謝するとともに、次世代への継承を誓いあって親交を深めました。

U.S.S. ミッドウェイ博物館



今では、家族や友人と笑顔で過ごす場所になっています。



ベイツナッツ農場

子どもたちと一緒に、かぼちゃについて勉強。



ウィルソンクレークワイナリー

製造現場視察、ランチ、ギフトショップ、大人の社会科見学でした。



日 程

| | |
|--------------------|--|
| 10/21(土) | 成田発～ロサンゼルス着 サンディエゴへ移動 |
| 10/22(日) | バルボア公園・日本友好庭園 U.S.S.ミッドウェイ博物館 |
| 10/23(月) | ベイツナッツ農場 ペチャンガ地域視察 |
| 10/24(火) | ウィルソンクレークワイナリー パサディナ市役所訪問 |
| 10/25(水) | マーシャル・ファンダメンタル中高一貫校 NASAジェット推進研究所 市長、議長、MIRA会長、環境市民部長は、 ロサンゼルス総領事表敬訪問 |
| 10/26(木) | ハンティントンライブラリー ギャンプル邸 60周年記念セレモニー[ローズ・ボウル] |
| 10/27(金) ～28(土) | ロサンゼルス発～成田着 |

参加者

(敬称略)

| | | |
|-----|-------|----------------------|
| 団 長 | 豊岡 武士 | 三島市長 |
| 副団長 | 鈴木 文子 | 三島市議会議員 |
| 副団長 | 平出 利之 | 三島市国際交流協会(MIRA)会長 |
| | 野村 諒子 | 一般(市議会議員、MIRA都市交流委員) |
| | 岡田美喜子 | 一般(市議会議員、MIRA会員) |
| | 矢岸 克行 | 一般(MIRA副会長) |
| | 望月 眞弓 | 一般(MIRA総務委員長) |
| | 渡邊 靖乃 | 一般(MIRA広報副委員長) |
| | 筒井 波留 | 一般(MIRA総務委員) |
| | 植松 和男 | 環境市民部長 |
| | 佐々木裕子 | 秘書課長 |
| | 高田 麻理 | 国際交流室 |
| | 村田 芳浩 | 添乗員 |

パサディナ市庁舎

昨年三島市を訪れた
デリー・トーネック市長と、しばしの歓談。



マーシャル・ファンダメンタル 中高一貫校



理数系教科とともに
芸術科目にも力を
入れています。



NASAジェット推進研究所

最新鋭の技術開発が身近に
感じられました。



ハンティントンライブラリー



美しい庭園と古くからの蔵書に囲まれ、
重厚な時間を過ごしました。

ギャンブル邸

P&G社2代目社長のサマーハウス。
1908年築、ジャポニズムの影響が。



60周年記念セレモニー

～ローズ・ボウル スタジアムにて～



“WELCOME MAYOR TOYOOKA AND FRIENDS” 電光掲示板に感激!



たくさんの人に感謝を伝え、60年間の“友情”を再確認しました。この友情がいつまでも続きますように。

James Molloy - MIRA Newsletter #14

JIMのみしまものがたり⑭

三島の野生動物

この「JIMのみしまものがたり」をご覧になっているみなさんに、お願いがあります。

読み進める前に、私たちのこの三島のまちについて、少し考えてみてくださいませんか？

あなたの頭に最初に浮かんだものは何ですか？

自分の家、家族、学校を思い浮かべた人がいるかもしれませんね。三嶋大社や、私たちの足元からブクブクと湧いている富士山からの湧水を思い浮かべた人もいるでしょう。緑が美しい小道があり、大きく成長した雄大な木々に囲まれた楽寿園を思い浮かべた人もいるかもしれません。

この文章を書く前に、同じ質問を私の周りの友人たちにもしてみました。そこでは出てこなかった回答で、私の頭の中にあったもの。それは野生動物についてです。

幸運なことに、この三島の森にいと、そんな森の友人たちと簡単に会えることができます。

まず、三島には様々な種類の鳥たちがいます。桜川や源兵衛川に沿って歩いていると、たくさん目にすることができます。カワセミ (kingfisher)、コサギ (little egret)、アオサギ (gray heron)、カルガモ (spot-billed duck)、そして夕暮れになると集まってくるムクドリ

(starling) の大群。

タヌキ (raccoon dog)

やハクビシン (masked

palm civet) といった夜

にしか出会えない夜行性の動物もいます。私の友人が夜ベランダに出た時、ハクビシンが地上から数メートルの電線の上をスルスルと歩いているのを見たという話も聞きました。ハクビシンは驚いて足を滑らせ、前足だけでぶら下がっていましたが、すぐに体勢を立て直したそうです。

私自身は見たことがないのですが、三島の「らっきー」というニホンザル (Japanese macaque) のことをみなさんも覚えているでしょう。彼は「おさるのジョージ (Curious George)」みたいにとても好奇心旺盛で、自分自身の目で三島のまちを見てみたかったのでしょうね。イノシシ (wild boar) については言うまでもなく、その足跡やエサを採るために地面を掘り返した跡はいたるところで見ることができます。

今は冬の青空が続く季節です。ぜひ外に出かけて、私たちの周りにいる野生動物たちと触れ合ってみませんか。そこで会いましょう！



秋の宵の三島市民活動センターは夏の講座に引き続いて行われた
続スペイン語講座および続中国語講座に参加する熱心な受講生達で活気に満ちていました

続スペイン語講座

9月26日～12月12日の毎週火曜日



受講生の目的意識ははっきりしている。南米やスペインに旅行することを目標としている方、英語は一般的になってきたので別の言語に興味を持つ方などが意欲的に取り組んで学習を進めている。ケイラ先生の質問にもずらずらと受け答えができ、さすが続スペイン語クラスだ。



ペルーの太陽！
スペイン語の魅力を伝える
原 ケイラ先生

続中国語講座

9月25日～12月11日の毎週月曜



日本を訪れる台湾や中国の方と交流したい、仕事や旅行で使ってみたいなどの希望を持っている方々が、さらに学習を進めるために続講座を受講したようだ。皆で復唱する声も大きい。「とても熱心な生徒さんたちなので楽しく勉強できています。」と張先生はにこやかに語った。



穏やかな笑顔で
やさしく相手を包み込む
張 万英先生



小学校の子供達

カンボジアの子供たちを学校に！

Share the Wind 代表 内田 隆太

皆さんは世界遺産で有名なアンコールワットがあるカンボジア王国をご存知でしょうか。私はアンコールワットがあるシェムリアップ州から60km程離れたリエンポン村という所で支援活動をしています。

大学2年生の時に初めてこの国を訪れたのは、中学の時に見たTV番組が最初のきっかけでした。同世代の子ども達が劣悪な環境下で生活する姿、もちろんその国の中での格差はあるにしても同じアジアの国での

生活レベルの違いに衝撃と違和感を覚えました。目指すべき職業も手探りだった中、私はこの記憶を思い出し、当時東南アジアで貧困国と言われていたカンボジアに向かいました。

子供達が路上で生活し、物乞いをしている姿、根本的な教育面における課題の数々。そんな現実を自分自身と照らし合わせて出てきた答えがカンボジアに小学校を建てようという目標でした。帰国して間もない2012年11月に任意団体Share the Windを立ち上げ、そこから1年間で200万円をチャリティーイベントや寄付により集め、2014年1月に2教室の小学校を建設。今年の9月には小学校で初めての卒業生を迎えました。しかし、生徒達の家を見ると教育や生活に対する課題は多くあります。幼い子供を残しタイに出稼ぎに行く親や、学校を辞め仕事に従事する子供達。勉強を続けたくても叶わない、子供を学校に行かせたいけれど出来ない。それがこの村の現状です。



当団体ではこのような家庭背景を持った10代後半の女性5名をスタッフとして雇い、お菓子袋や古新聞を再利用し、バッグをつくり販売しています。今年の9月には寄付を募り小学校に工房を建設。親がいない、母親が病気で働けないなどで、自分で働きながら空いている時間に学校に通っていた彼女達が、今ではこの工房で働き目標や夢を持ち継続して学校に通っています。給料を渡しその中から中学や高校にかかる費用を当団体が貯金しています。しかし本来であれば親が子供の

教育や生活をサポートしていくのが一番です。

現在、親の雇用に向けて活動を進めていますが、当団体の活動費やバッグの売上ではまだまだ難しい状態です。私自身が三島市出身ということで皆様に当団体の活動を知っていただき、サポートしていただけたら幸いです。日本では任意団体ですが、カンボジアではローカルNGO取得に向け動いています。

カンボジアに住み3年、バッグ作りを始めて1年が経ちました。私達の活動は大河の一滴にすぎないのかも知れませんが、それでも少しずつこの国に根を張り、長く村をサポートしていきたいと思っています。

（活動の詳細、ご支援の方法などはホームページをご覧ください。）

HP: <http://share-the-wind.sunnyday.jp/> Blog: <http://blog.goo.ne.jp/sharethewind>



日本語の 教え方教室

森田陽子先生

2017年 9月8日～12月8日
毎週金曜日 午前10時～11時30分

森田先生は、日本語のおもしろさや難しさに気づき、理論的にならず、実践的に伝えられるように心掛けています。参加者は、「子供達に作文を教えているので参考にしたい」、「日本に興味を持っているフランスの友人へ伝えたい」など、受講理由は様々です。



向かって右端が森田先生



★ 三島市国際交流協会 (MIRA) 事務局
TEL 976-1020・FAX 976-1021
★ 三島市国際交流室 TEL 983-2645
三島市中央町5-5三島市役所中央町別館



2018 新春交流パーティーのお知らせ

身近にお住まいの外国人の皆さんとの交流会です。新年を世界のダンスでたのしみましょう。

日時 2018年1月28日(日) 午後2時～4時

会場 三島商工会議所 TMOホール
(Tel 975-4441)

対象 MIRA会員と家族
在住外国人と家族

会費 500円 ただし、中学生以下は無料

持ち物 ゲーム用の景品を
1人ひとつご用意ください。

服装 自由

内容 ★世界のダンスをみんなで踊ろう!
飛び入り参加歓迎 (CDなど音源を
持ってきてくださいね!)
★景品付きゲーム大会

メニュー 軽食・ソフトドリンク・ビールなど

申し込みはいりません。
当日、直接会場へお越し下さい。



フラワーアレンジメント 参加者募集

フラワーアレンジメントを通じて、外国の方と
交流してみませんか?

日時 平成30年1月20日(土) 19:00～20:30

場所 生涯学習センター 美術室 (5階)

定員 20名

対象 三島市在住、在勤の方及び在住外国人又は協会員

参加費 MIRA会員、在住外国人
.....1,000円 (材料費含む)

一般2,500円 (材料費含む)

持ち物 花はさみ、新聞紙 (あればビニールシート)、
雑巾、持ち帰り用袋

申込み 往復はがきにて、住所・氏名 (ふりがな)・
電話番号・会員か非会員かを、記入し
三島国際交流協会へ郵送

締切り 平成30年1月12日(金) 応募多数の場合
は協会員及び在住外国人優先

ホストファミリー募集

姉妹都市ニュージーランド・ニュープリマス市から、研
修生達が訪れ、交流と親睦を図ります。ホストファミ
リーをお引き受けくださるご家庭を募集します。

受け入れ人数

14名程度 (スポーツウッドカレッジ生徒及び指導員)

滞在期間

平成30年4月20(金)～25日(水) 5泊6日

募集家族数

10世帯程度 (2名以上の受け入れ大歓迎です)

申込方法

平成30年1月31日(水)までに、所定の申込用紙を
国際交流室へ提出して下さい。

※事前説明会を行いますので、ご参加下さい。

問い合わせ 三島市国際交流協会

NO.
3

身近な外国人との コミュニケーション

～「やさしい日本語」で話してみよう～

「やさしい日本語」とは、普段使っ
ている言葉を外国人にもわかるように配慮
した簡単な日本語のことです。

あなたも「やさしい日本語」で、身近
な外国人と話してみませんか。

病気とケガ

冬も本番に入り、風邪やインフルエンザが心配な季節となりました。
今回は、病気やケガについて「やさしい日本語」で表してみましょう。
ジェスチャーや表情も入れると、よりわかりやすくなりますね。

- **痛い** 体が いつもと 違う
文: のどが 痛くて 話すことが できない。
- **ケガ** 道で すべったときに できる 痛い ところ
文: 足の ケガをしたので 歩くことが できない。
- **病気** 体の 具合が 悪いこと
文: 病気にならないように 気をつける。
- **病院** 体の 具合が 悪い人が 行く ところ
文: おなかの 具合が 悪いので 病院へ 行く。

麦畑 (広報委員・活動後記)

★麗水記念誌。イイ出来ばえです (自画自賛)

(S)

★Winter is piping-hot oden and a snow-capped Fujisan.

(J)

★あと2年でオリンピック、国際交流準備ok?

(魚)

★時代とともに変化する交流の質を実感!

(桜)

★麗水市友好20年、未来へ続く友好の輪

(明)

★バサディナの皆様、素晴らしいおもてなしをありがとう

(青)

★MIRA会員が増えるプランを考えてみましょう

(蛸)

★こんなときだからこそ、人と人、国と国、つなぐのはやっぱり、心の交流ですね

(古)